

## 亡国を招きかねない反日左翼勢力

JJ1SXA/池

反日左翼勢力の人たちは、知識人とされる人たちを頂点に、各界、各層に多数いる、国会議員も例に漏れずだ。

ここに、一読してもらいたい文章がある。

……現在の日韓・日中関係は良好とは言い難い、だが、その根本原因の一つを作った張本人は誰か？

中国の常軌を逸した反日プロパガンダのカードは「南京大虐殺」事件であり、韓国そのそれは「従軍慰安婦の強制連行」である。

「30 万人以上が日本軍に殺害された」と主張し、国内においては反日教育を、海外では日本を非難し貶めるのに躍起になっている中国のデマゴギーの根拠である「侵華日軍南京大屠殺遇難同胞紀念館」、いわゆる「南京大虐殺紀念館」は、前橋市出身の旧社会党委員長・田辺誠が 1982 年に南京市を訪れ、総評からの 3,000 万円という当時の中国としては破格の寄付を提供し、再三建設を要求して建造され、反日活動の拠点に仕立て上げられた。

旧社会党とその残党を含む反日左翼勢力は長年にわたり内憂外患のタネを撒き散らしてきた。

中国、南北朝鮮の歴史捏造とそれを悪用した攻撃により、自国の歴史や文化への誇りを失わせる政治と教育が現在の日本をどれほどゆがめているか。……

以上、「群馬の森の朝鮮人追悼碑の撤去を求める県民の会」の会長・佐藤みずえ氏ブログ記事より抜粋引用

旧社会党は、かつて北朝鮮の拉致について、あるわけは無いと大見得を切っていた、その残党がいまだに国会議員をやっている、そんな彼等が、もっともらしいことを言っても、空々しい戯言にしか聞こえない。

ものはずみで、総理大臣になった、村山富市氏は、自衛隊違憲論者から、一夜で合憲論者になったが、阪神淡路大震災時に、アメリカが空母インディペンデンスを神戸沖に派遣しようとしたが、アメリカと親しくしたくない村山富市氏はこれを断り、救助救援活動を大幅に遅らせたという大罪を犯している。

残党では無いが、沖縄(琉球)独立運動を主張する照屋寛徳氏、簡単に沖縄独立というが、日本の国土を狭くし、結局は中国の属国となることだ、要は日本の領土を中国に売ろうとしている、正に国賊だ、しかしこんな人間が社民党の国会議員だ。

「南京大虐殺紀念館」建造に関する話や、「拉致問題」発言、「沖縄(琉球)独立運動推進」等の話を、どれだけの国民が知っているのだろうか？

佐藤みずえ氏の言う、「旧社会党とその残党を含む反日左翼勢力は長年にわたり内憂外患のタネを撒き散らしてきた」は、真に迫っている。(23.Jun,2014 記)